

本単元で育む主な情報活用能力

G-STEP 1, H-STEP 1

該当番号の詳細内容は

「大阪府情報活用能力

ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・事柄の順序など、情報と情報との関係について理解する。（国語）
- ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出す。（国語）
- ・自分が表現したい作品に合った道具や技法を選ぶ。（図工）
- ・生き物を育てるために必要な情報を調べ、生き物を大切にしようとする。（生活）

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・知識（調べたこと）と体験をつなげる。
- ・何かを知りたいときに、学校司書等、学校図書館に関係する人々に自ら尋ねるなど、関わりをもつ。
- ・自然科学の本、図鑑の使い方を知る。
- ・抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べた方法をまとめる。

単元における学習の展開（全13時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○「うみの かくれんぼ」の読み取りをする。 ・海に隠れている生き物を予想し、学習計画を立てる。 ・「うみの かくれんぼ」を読み、初めて知ったことを話し合う。 ・「うみの かくれんぼ」の「問い」を確認する。 ・事例を読み、問いに対する答えを確かめ、情報カードにまとめる。
第2次 (6時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○生きものの隠れ方を調べ、クイズを作る。(☆) ・校庭に出て、実際に隠れている生き物を探し、名前や飼育方法を情報カードにまとめる。 ・科学読み物などから、他の生き物の隠れ方を調べて、情報カードに書く。(本時) ・情報カードをもとに、かくれんぼクイズを作る。
第3次 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習をふり返る。 ・作ったかくれんぼクイズで、クイズ大会をする。 ・学習をふり返る。

本時のねらい

- ・自分が選んだ生き物について調べ、情報カードにまとめることができる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	<p>1. 情報カードの書き方の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きものの名前、隠れる場所、からだの特徴、隠れ方を調べる。 ・全部を写すのではなく、必要なことを探す。 ・どんな言葉に注目すればよいかふり返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに調べた情報カードを確認しながら、書き方の確認をする。
展開 (35分)	<p>2. 調べた生き物を動作化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・からだの特徴、隠れ方に注目する。 <p>3. 互いにインタビューを行い、必要な情報が集められているか確認する。</p> <p>「なまえはなんですか。」 「どこにかくれていますか。」 「どんなからだをしていますか。」 「どのようにかくれますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの内容から、足りていないものを調べる。 ・わかりやすい書き方になっているかグループで考える。 <p>4. インタビューした内容を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いている人は、インタビューに答えられているか、答えはわかりやすいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜インタビュー内容を確認できるように掲示しておく。 ・からだの特徴と隠れ方が一致するように注意させる。 ・「2年生にクイズを出す」という相手意識をもって、わかりやすく書けているか考えさせる。 <p>情報カードに書いた内容が適切であるか、図書資料を確認しながらインタビューする。</p>
まとめ (5分)	<p>5. 本時の学習をふり返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理した情報カードを確認する。 ・ふり返りシートを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時からは情報カードにまとめた内容を文章にしていくことを伝え、どのような文章になるか考えさせる。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・「2年生にクイズを出すために取り組んでいる」という相手意識を常に持たせておくことが大切である。
- ・図書資料を子どもたちが自由に選ぶと、情報が多すぎて必要な情報を取り出すのが難しいため、教員が学校司書と連携し、いくつかの資料に絞って用意しておくことで必要な情報を取り出しやすくなった。
- ・必要な情報を集められるように、国語の読み取りの授業から、情報カードを意識しておく。



インタビューして、調べたことがあっているか確認している様子